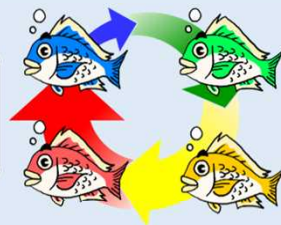


探究 BEFORE → AFTER



小学校第3学年 算数 □を使った式

③「整理・分析」のポイント



情報を分析させタイ

たし算、ひき算、かけ算、わり算のうち、どれを使うと文脈のとおりに式に表せるかを考えさせる。

BEFORE : □を使って、場面を式に表したことを振り返る。

○指導過程

段階	学習活動	形態	◎指導上の留意点
導入 10分	○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応 1 □を使った式について振り返る。 下の①、②の場面を、分からない数を□として式に表しましょう。また、□にあてはまる数をもとめましょう。 ① 色紙を45枚まい持っています。何まいかもらったので、全部で62まいになりました。 ② 8円のあめを、何こか買ったなら、代金は48円になりました。 ○それぞれの場面を□を使った式に表して、□に当てはまる数を求めてください。 ◆① $45 + \square = 62$ $\square = 17$ 17まい ◆② $8 \times \square = 48$ $\square = 6$ 6こ	一斉 個別	◎□を使った式について振り返り、問題に取り組ませる。 ◎式が立てられない児童には、言葉の式や線分図を用いて考えさせる。

ここを探究的に変えタイ！

AFTER : □を使って、場面を式に表したことを振り返り、それぞれの問題でどの演算を利用しているか分析する。

○指導過程

段階	学習活動	形態	◎指導上の留意点
導入 10分	○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応 1 □を使った式について振り返る。 下の①、②の場面を、分からない数を□として式に表しましょう。また、□にあてはまる数をもとめましょう。 ① 色紙を45枚まい持っています。何まいかもらったので、全部で62まいになりました。 ② 8円のあめを、何こか買ったなら、代金は48円になりました。	一斉 ↓	◎□を使った式について振り返り、問題に取り組ませる。
	○前回までの内容を思い出しながら、考えましょう。それぞれの場面は何算を使えばよいですか。 ◆①はたし算。 ◆②はかけ算。		◎それぞれの場面において、分かっている数や分からない数を確認しておく。 ◎たし算、ひき算、かけ算、わり算のうち、どれを使うと文脈のとおりに式に表せるか考える。 整理・分析
	○それぞれの場面を□を使った式に表して、□に当てはまる数を求めてください。 ◆① $45 + \square = 62$ $\square = 17$ 17まい ◆② $8 \times \square = 48$ $\square = 6$ 6こ	個別	◎式が立てられない児童には、言葉の式や線分図を用いて考えさせる。